

# あなたも身近なことから はじめてみませんか？

秋田県では働きやすい職場づくりに取り組む「男女イキイキ職場宣言」事業所を募集しています。美郷町内で「トピア緑泉やトピア仙南を運営している社会福祉法人六郷仙南福祉会は、平成19年度に「職場宣言」し、様々な取り組みを実施してきました。取り組みの内容について佐藤義勝事務局長にお話を伺いました。

「当法人に勤務する職員の男女比率は2対8となっております。圧倒的に女性が多い職場です。家庭内での家事分担割合が多くなつてしまふ女性が働きやすい職場を作るためには、『仕事と家庭の両立』は常に意識される課題でした。平成20年2月に『男女イキイキ職場宣言』事業所となりましたが、ずっと以前から自分たちが自発的に取り組んできたことが、たまたま『職場宣言』という形で実を結んだという捉え方をしています。

仕事柄、一年365日、常に誰かが出勤しているような変則勤務の職場です。そのため、職員が少しでも長く勤められるような方策を探ってきました。例えば、子どもの看護休暇については、法律的には1年間に5日付与されていますが、当法人では10日になっていきます。年次有給休暇も施設開設当初



■六郷仙南福祉会のみなさん  
(後列左から)加藤正子さん、佐々木康子さん、中田寛子さん、鈴木久美子さん、辻裕子さん 前列)佐藤義勝事務局長

から1時間単位の取得を認めてきました。職員の採用時にも必ずしもフルタイム勤務を求めず、その方の生活リズムを尊重して勤務してもらっています。また、現在進行形ですが、働きやすい職場づくりを押し進めるための研究チームを作り、全職員からアンケートをとって意見を集約しています。まとまった意見をどうやって実施につなげていくか、これから検討に入る予定です。

一人ひとりの職員が働きやすい職場を作ること、結果的に離職率を下げることに繋がります。専門性が求められる仕事ですので、長い経験を積んだ職員の離職は出来る限り避けたい。職員が職場環境にどういったことを求めているのかを把握し、働きやすい職場づくりには今後も力を入れていかなければならないと思っています。

## 男女共同参画に取り組んでみませんか 「男女イキイキ職場宣言」事業所募集中

対象 県内の事業所で従業員がおおむね30人以上

事業所での  
取り組み

- 【必須】男女共同参画推進員の設置
- 【選択】女性の能力の活用
- 【選択】仕事と生活の調和を支援する職場環境づくり
- 【選択】従業員101人未満の事業所の場合)  
次世代育成支援のための計画づくり

「男女イキイキ  
職場宣言」  
をすると

- ・秋田県と宣言事業所との間で協定を結びます。
- ・秋田県のホームページや広報紙で事業所の取り組みを紹介します。
- ・宣言事業所紹介パンフレットに掲載し、広く県内に配布します。
- ・男女共同参画推進員に情報や研修の場を提供します。

秋田県では、働きやすい職場づくりや女性の能力の活用に積極的に取り組む事業所を募集しています。平成23年3月末までに、秋田県内で167事業所が「男女イキイキ職場宣言」をしています。あなたの職場でも取り組んでみませんか。

問 秋田県男女共同参画課 018(860)1555

- ・ママと子どもに作ってあげたい パパごはん (滝村雅晴 著)
- ・働くママのサクッと手作りごはん 子どもを待たせないかんたん料理 ((ひらのゆきこ 著))
- ・経産省の山田課長補佐、ただいま育休中 (山田正人 著)
- ・夢をかなえる。思いを実現させるための64のアプローチ ((澤 穂希 著))
- ・ほまれなでしこジャパン・エースのあゆみ ((澤 穂希 著))
- ・田部井津子の人生は8合目からが面白い (田部井津子 著)
- ・子どもが眠るまえに読んであげたい365のみじかいお話 (田島 信元 著)
- ・ママおはなしよんで 幼子に聞かせたいおやすみまえの365話 (千葉幹夫 著)
- ・新Good job〜グッジョブ (かたおかみさお 著)
- ・ママはテンバリスト (東村アキコ 著)
- ・働きママ1年生 (おぐらなおみ 著)
- ・働きママ2年生 (おぐらなおみ 著)
- ・男子☆弁当部：オレらの友情てんこもり弁当 (イノウエミホコ 著)
- ・男子☆弁当部：弁当バトル！野菜で勝負だ！ (イノウエミホコ 著)

#### 美郷町男女共同参画住民懇話会委員

加藤 葉子 さん

“父子で作る料理”の講師を引き受けた私は娘に相談し、「餃子の皮のピザ」を中心としたとても簡単なメニューを6品ピックアップしてみました。実際に作り始めると、品数が多かったため後半は駆け足状態だったような気がします。でも、お父さんたちは決して子どもたちを急かしたりせず、子どもが出来ることは最後まで子どもたちにやらせていて、とても感心しました。

会食時間ギリギリの完成でしたが、出来上がった料理はまるで『プチパーティ』。父子で作った料理を一緒に参加してくれたお母さんたちは笑顔で頬張っていました。

クッキングを終えて、またいつか、「父子チャレンジ教室のときの『あれ』作らねが?」「うん、お父さん、『あれ』食べたいね」そんな会話が親子で交わされたら大変嬉しいなと思います。

参加して下さったお父さん方、本当にお疲れさまでした!

#### 美郷町男女共同参画住民懇話会委員

笹 智子 さん

「お～っ、このパン上手く焼げであー」  
「んだな、中はモチモチしてでうめな」  
「この肉の皮の焼け具合も、パリパリしてうめごと～」

こんな会話が父子チャレンジ教室の試食会で交わされました。アウトドアクッキングという内容で昨年7月に開催された父子チャレンジ教室は、日ごろ子どもと一緒に料理をすることの少ない(あるいは全くない)お父さんと子どもと一緒に料理を作って、親子のふれあいの時間を楽しんでもらうために企画しました。

お父さんたちは講師に器具の使い方を教わり、手際良ুকまどを作り、火をおこし、子どもたちはパンやスペアリブなどを作りました。暑い中での作業でしたが、子どもたちは喜々としてパンをこねたり焼いたり、親も子も貴重な体験をした一日となりました。

今年度は父子チャレンジ教室を2回開催し、のべ9組の父子が参加しました。賑やかに行われた父子チャレンジ教室の企画運営に携わった美郷町男女共同参画住民懇話会委員の方々が、当日の様子を教えてくださいました。

□平成24年1月22日開催「父子で作る料理」

□平成23年7月24日開催「アウトドアクッキング」

平成21年度から美郷町男女共同参画住民懇話会が取り組んでいる朗読劇の様子を収めたDVDを貸し出ししています。

貸し出しを希望する方は、下記までお申し込みください。

申込 町総務課まちづくり班 0187(84)1111